

自己評価報告書

平成 23 年 3 月 31 日現在

機関番号：34419

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20360280

研究課題名(和文) カンボジアにおける漸進的開発のための建築・都市計画手法

研究課題名(英文) Planning Method of Architecture and Urban planning for gradual development in Cambodia

研究代表者

脇田 祥尚(WAKITA YOSHIHISA)

近畿大学・理工学部・准教授

研究者番号：40280119

研究分野：工学

科研費の分科・細目：建築学・都市計画・建築計画

キーワード：都市・地域計画、都市居住、都市構成、景観

1. 研究計画の概要

1991年に内戦を終えたカンボジアでは、東南アジアの諸都市がこれまでに経験したような急激な開発が、いま進展しつつある。居住環境の急速な変化により都市の個性が失われ、地域の中で長い年月をかけて培われてきた文化、自然、社会に適合した固有の居住形態、居住環境や町並みが破壊されつつある。地域の固有性を保持した開発を進めるためには、地域の社会・文化形態に即した漸進的な開発に向けた建築・都市計画手法の開発が急務である。しかし、内戦により研究資料が散逸したカンボジアにおいて、都市の居住実態を明らかにした研究は非常に限られている。本研究の目的は、未だ明らかになっていないカンボジアの都市居住の特性や都市空間の構成等を明らかにすることを通して漸進的な開発に向けた建築・都市計画手法を明らかにすることにある。

2. 研究の進捗状況

(1) ショップハウスの空間更新

55棟のショップハウスの空間更新事例を分析することにより、居住空間の確保、独立性の確保、アクセスの変更の3点が空間更新の要因となることを明らかにした。また空間更新が実施される箇所として、住戸内部、住棟内部、路地空間、住棟単位の4か所が挙げられることがわかった。住戸内部では、中二階の増築、個室の増築、住居の外部拡張、水回りの増築、屋根裏の利用、住戸の高層化、内部会談の封鎖の7つ、住棟内部では、廊下の私有、水回りの増築、テラスの室内化、屋上に住居建設、階段の増築、中庭の占有、階段室の閉鎖の7つ、路地空間では、路地の室内化、路地に階段を増築、路地と1階を接続

の3つ、住棟単位では、住棟内部同士の接続、住居同士の接続、住居と住棟内部の接続の3つの増築類型があることを明らかにした。特に、中二階の増築、個室の増築、水回りの増築、廊下の私有が多いことがわかった。

(2) ショップハウスによる都市景観

ショップハウスの2層のベランダは、奥行きのある景観を創り出すと共に、人の営みを立面に表出させている。個々のユニットは、ファサードの要素のデザインパターンを変え、相互に独立、結合しあい、変化のある壁面を形成する。同一フレームの中で個別更新が行われているため、結果的に壁面の連続性を保持している。1階部分の時間的変化のある景観と、屋上の多様な増築は、街並みの統一を単調化させず賑わいを感じさせることに貢献している。以上のような街並みが単なる一面の壁として存在するのではなく、道路両側へ配置されると共に街区レベルで連続し、ピスタを形成するアーバンデザインと連携することで、都市景観に埋め込まれることに成功している。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(理由)

現地調査を通じて、研究計画発案時よりもカンボジアの都市・建築・住居に関する理解が深まり、地域の課題や地域の特性をより多様に読み取ることに成功している。

4. 今後の研究の推進方策

これまで通り現地調査をもとに生活空間に関するデータを収集しながら、建築計画・都市計画的な視点で分析を深めていきたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

脇田祥尚、八尾健一「不法占拠地区の居住空間構成 - ボレイケラ地区(カンボジア・プノンペン)を事例として - 」(日本建築学会計画系論文集 No.659 2011.01 pp.1-8)査読有

Yoshihisa Wakita and Hideo Shiraishi : Spatial Recomposition of Shophouses in Phnom Penh, Cambodia, Journal of Asian Architecture and Building Engineering, vol.9 no.1 May 2010 査読有

脇田祥尚、前田幸大「水上集落における住居・集落の空間構成 - アンロン・タ・ウー村(カンボジア・トンレサップ湖)を事例にして - 」(日本建築学会計画系論文集 No.655 pp.2107-2114 2010.9) 査読有

脇田祥尚、川田叔生「プサー・チャー(カンボジア・プノンペン)にみる市場の空間構成」(日本建築学会計画系論文集 NO.649 pp.587-594 2010.3) 査読有

脇田祥尚、白石英巨「プノンペン(カンボジア)の都心街区における外部空間利用」(日本建築学会計画系論文集 NO.631 pp.1939-1945 2008.9) 査読有

〔学会発表〕(計6件)

伊丹祐介、前田 幸大、上段 貴浩、八尾健一、脇田祥尚：プノンペン(カンボジア)におけるスクウォッター地区に関する研究 その4 ボレイケラ地区における住居の空間構成、2009年日本建築学会全国大会、2009年8月28日、東北学院大学

八尾 健一、前田 幸大、上段 貴浩、伊丹 祐介、脇田 祥尚、プノンペン(カンボジア)におけるスクウォッター地区に関する研究 その5 ボレイケラ地区における居住環境改善事業による集合住宅の空間構成、2009年日本建築学会全国大会、2009年8月28日、東北学院大学

川田 叔生、脇田祥尚、プノンペン(カンボジア)における土着的商業施設の空間構成に関する研究 Phsar Chas を事例として、2009年日本建築学会全国大会、2009年8月28日、東北学院大学

八尾 健一、山本 達也、上段 貴浩、前田 幸大、脇田祥尚、プノンペン(カンボジア)におけるスクウォッター地区に関する研究 その1 ボレイケラ地区における路地とオープンスペースの構成、2008年日本建築学会全国大会、2008年9月19日、広島大学

前田 幸大、八尾 健一、山本 達也、上段 貴浩、脇田祥尚、プノンペン(カンボジア)におけるスクウォッター地区に関する研究 その2 ボレイケラ地区における市場の外部空間構

成、2008年日本建築学会全国大会、2008年9月19日、広島大学

山本 達也、八尾 健一、上段 貴浩、前田 幸大、脇田祥尚、プノンペン(カンボジア)におけるスクウォッター地区に関する研究 その3 ボレイケラ地区における住居群区域の空間構成、2008年日本建築学会全国大会、2008年9月19日、広島大学

〔図書〕(計1件)

脇田祥尚『みんなの都市計画』(理工図書) 2009.4, 217ページ